

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、引き続きアル売りが優勢で一時2.53台前半まで上昇。2期目を迎えるルセフ政権の具体的な政策運営が依然として見えてこないことに加え、足許の経済指標に悲観的な数字が目立ち始めていることから、ブラジル経済の先行きに対する期待感も後退しつつある。また、昨日公表された9月鉱工業生産も前月比0.2%減(前月まで2ヶ月連続で増加していた)と予想外に減少したことも投資家心理を圧迫。加えて、中銀が12月初旬に期限を迎える通貨スワップについて、全てをロールオーバーせず介入ペースを緩和するとの観測もアル売り材料となつた。ボベスパ株式指数は序盤に下げ幅を拡大させる場面も見られたが、引けにかけては上昇に転じ、前日比0.8%高で取引を終えた。

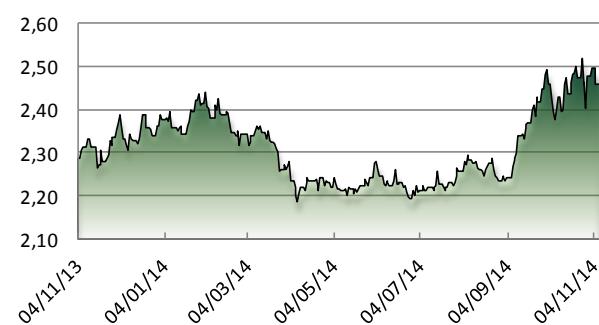
再選を果たしたルセフ大統領が従来の介入主義的な経済政策を改め、マーケットフレンドリーな方針を実際に打ち出すかどうかを見極める上で、政府が国営石油会社ペトロプラスに対して国内向け燃料価格の引き上げを承認するかどうかに注目が集まっている。これまでの労働者党政権(PT)では目標値を上回って推移するインフレ率を抑制するため、燃料価格の設定について統制的な措置を取ってきた。企業活動に対する介入の象徴となってきた本政策の見直しが実行されれば、政策運営の変化への期待が短期的にマーケットを押し上げる可能性が高い。なお、「ペトロプラスがマンテガ財務相より燃料価格の引き上げについて支持を得る」との報道が昨日見られたが、「ペトロプラスは燃料価格についていかなる決定も行っていない」との報道もあり、具体的な方向性については今後注視する必要がある。また、マーケットが注目するマンテガ財務相の後任人事についても、現時点でルセフ大統領は言明を避けている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月3日	11月4日	前日比	10月3日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	45,69	45,40	-0,29	44,65	+0,75
USD / BRL Spot	BRL	2,4953	2,4956	+0,0003	2,4584	+0,0372
USD / JPY Spot	JPY	114,05	113,60	-0,45	109,76	+3,84
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.947	54.384	+437	54.540	-156
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	158,8	163,2	+4,4	174,7	-11,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,18	12,35	+0,17	12,09	+0,26
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,30	12,35	+0,05	11,91	+0,44
3 Months US Dollar Libor	%	0,232	0,232	+0,000	0,232	+0,000
CRB Index (国際商品指数)	Index	270,5	267,5	-3,0	276,3	-8,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

